

# ポンジクロス SS2000

## 取扱説明書 (ご使用前に必ずお読みください。)

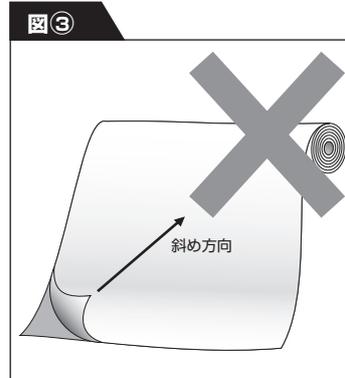
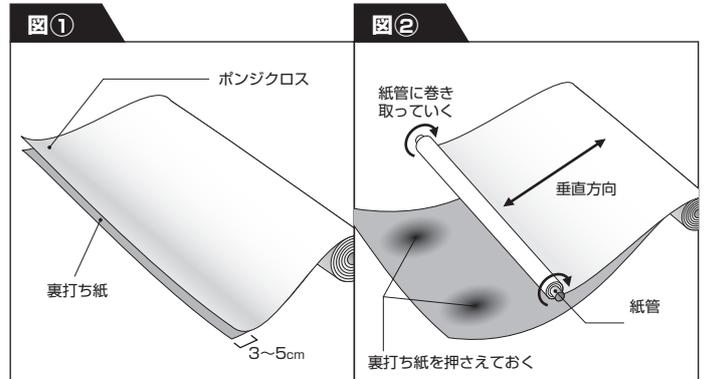
この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
下記の注意事項をお読みになり、正しくご使用ください。

### ⚠ 取扱上のご注意

- 本クロスは、15～25℃の温度で、湿度は40～60%でご使用ください。
- 印刷前に本クロスを濡らしたり、折り曲げたり、傷つけたりしないように注意してください。印刷品位を劣化させたり、プリンタ故障の原因となる恐れがあります。
- 印刷前に、本クロスの印字面を素手で直接触らないように注意してください。手のひらの油分などが付着すると、印刷品位を劣化させる恐れがあります。

### 印刷時のご注意

- 本クロスは、水性染料・顔料インクジェット専用です。
- 本クロスのセット方法については、用紙セットの場合と同様、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。
- 本クロスの印字面は巻きの外側です。
- プリンタのヘッドの高さを調節できる場合には、ヘッドを高めにごセットしてください。
- プリンタの設定モードは、解像度720dpi以下でご使用ください。それ以上の解像度で印刷した場合、にじみ・むらが生じる恐れがありますので、あらかじめ試し刷りを行ってください。
- プリンタから排出された本クロスのカッティングの際は、必ずハサミなどを用いて手動で行ってください。(自動カッターを使用した場合、プリンタ故障の原因となる恐れがあります。)
- 印刷後は、メルトカッターを用いてご希望のサイズに断裁してください。その際、クロスメディアカッター専用パワーコントローラーで温度調節すると、切断面がきれいに仕上がります。詳しくは、メルトカッター専用パワーコントローラーの説明書を参照してください。
- 本クロスには、裏打ち紙を貼り合わせています。一度剥がした裏打ち紙を再度クロスに貼ることはできません。
- 印刷・断裁後は裏打ち紙を剥がし、室温または100℃以下の温度で乾燥させてください。
- 裏打ち紙を剥がした後、本クロスにほつれが生じた場合には、縫製またはヒートカットしてください。
- 本クロスに印刷した文字や図像の耐水性・耐光性などは、ご使用のインクに依存するものであり、クロスによるものではありません。



裏打ち紙を剥がす際には、まず、本クロスの反末から均一に3～5cm程度を剥がしておきます(図①)。次に、裏打ち紙を押さえながら、クロスが紙管に対して垂直になるように巻き取ってください(図②)。この作業は2名以上で行ってください。  
※注) 斜め方向に剥がしたり、巻き取ると、本クロスに歪みが生じることがあります(図③)。

### 保管時のご注意

- ご使用後は、本クロスを巻き直してから梱包されていた箱に収納してください。長時間プリンタにセットしたまま放置すると、印刷品位が低下する恐れがあります。
- 本クロスを立て置き状態で保管しないでください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

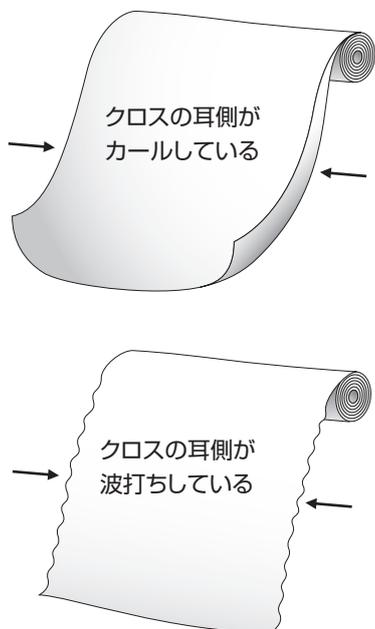
本クロスおよびプリンタ本体の取扱注意事項を必ずお守りください。上記以外のお取扱で生じたトラブルにつきましては、その責を負いかねます。

# ポンジクロス SS2000

## プリンタへのセット・給布について

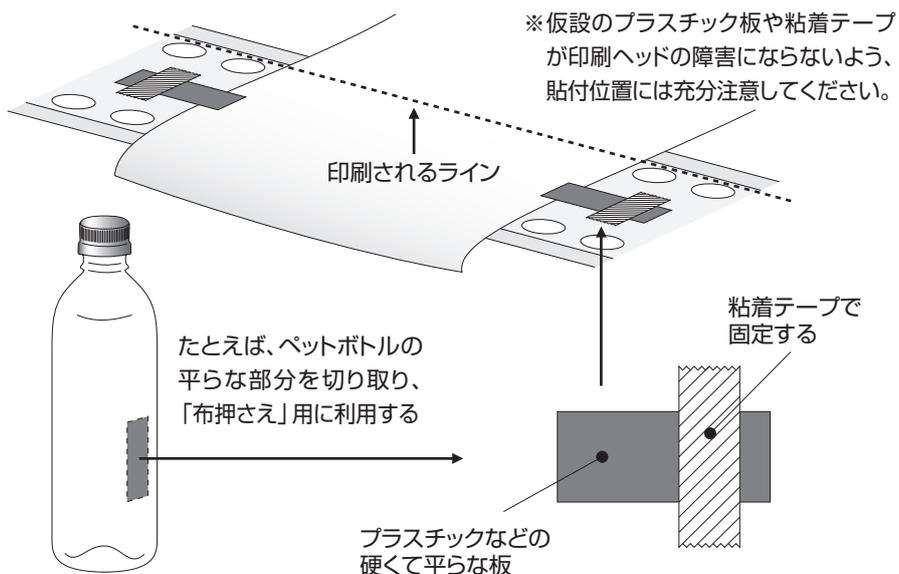
ご使用の環境や保管状態によって、本クロスに下記のような現象が生じる場合があります。それぞれの対処方法を参照してください。

### ① 耳側がカール・波打ちしている場合



#### 対処方法

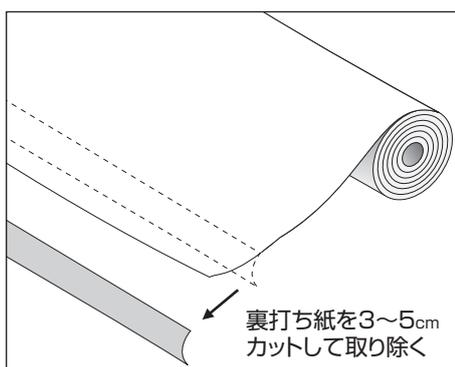
##### ●プリンタの排紙口に「布押さえ」を仮設



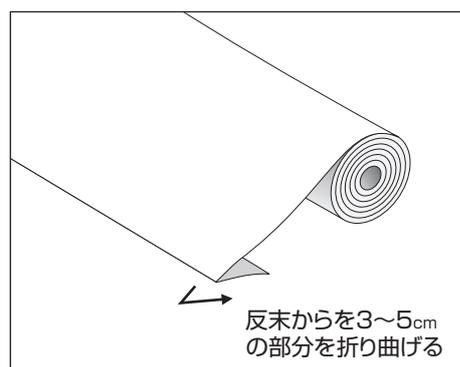
### ② 反末がカールしている場合



#### 対処方法 ㉠



#### 対処方法 ㉡



## プリンタ設定について

#### エプソン製プリンタの場合

PX-9000/PX-7000/PX-9500S/PX-7500S  
用紙設定： 防災クロス

PX-9500/PX-7500  
用紙設定： EPSON画材用紙/顔料  
用紙調整： インク濃度 -20  
用紙厚 15

#### その他プリンタの場合

他のメーカーのプリンタについては、クロスに適したモードをお選びください。